

ベンチャー創造協議会 Information Sharing #54

┌┐ ベンチャー創造協議会 Information Sharing #54 ┌┐

└□-----□┘

2015/9/7

ベンチャー創造協議会の会員の皆様から頂いた情報を共有致します！

++・…… ベンチャー企業と既存企業の連携促進 ……・++

□■□∞∞——～自前主義の限界を超えイノベーション力を高める～KAIKA オープンイノベーション Lab 開催——∞∞□■□

概要：

本 Lab は、日本企業がオープンイノベーションをさらに促進するために、「オープンイノベーション推進上の様々な課題をどう乗り越えていくか？」を実際にベンチャーとコラボレーションに取り組まれている企業のお話を聞きながら、参加企業の皆さんと共に考え、相互に刺激し合い、学び合っていきます。

◇企画及び参加応募条件の詳細はリンク先をご参照ください。

会期：2015年10月前半～2016年3月まで。計4回程度（各回13：30～17：00）を予定

会場：日本能率協会ビル（東京都港区）他

費用：無料

主催：一般社団法人日本能率協会

リンク先：<http://kaikaproject.net/lab/innovation/>

問い合わせ先：一般社団法人日本能率協会 KAIKAプロジェクト室

e-mail：kaika@jma.or.jp

 ◆……………

++・…… 人材育成・起業家教育の推進 ……・++

□■□∞∞—— 事業計画発表会 200回記念シンポジウム ——∞∞□■□

概要：事業計画発表会 200回記念シンポジウムのご案内です。

<http://www.independents.jp/pdf/event/000200-03.pdf>

【基調講演】

「最近の大学発ベンチャーの動向」

～自ら考え、行動し、創造しその利益を享受する人生のために！！～

松田 修一 氏（早稲田大学 名誉教授）

【パネルディスカッション】

「大学発ベンチャーの展望」

郷治 友孝 氏（株式会社東京大学エッジキャピタル 代表取締役社長）

奥原 主一 氏（日本ベンチャーキャピタル株式会社 代表取締役社長）

福田 伸生 氏（バイオ・サイト・キャピタル株式会社 取締役）

瀧口 匡 氏（ウエルインベストメント株式会社 代表取締役社長）

【第 200 回事業計画発表会】

1. オスカーテクノロジー株式会社（代表取締役 小野 隆彦 氏）

2. 株式会社アクセルスペース（代表取締役 中村 友哉 氏）

3. 起業家スピーチ

- ・ PicoCELA 株式会社（九州大学発ベンチャー）
- ・ 株式会社ヘルスケアシステムズ（名古屋大学発ベンチャー）
- ・ 株式会社アドメテック（愛媛大学発ベンチャー）
- ・ 株式会社名城ナノカーボン（名城大学発ベンチャー）

【交流懇親会】

会 場：大隈会館 201・202 室（18:00～ 定員 60 名）

参加費：事前振込 5,000 円／当日支払 6,000 円

日 時：2015 年 9 月 16 日（水）13:00-17:30（開場 12:30）

場 所：大隈小講堂（新宿区戸塚町 1-104 早稲田大学早稲田キャンパス）

参加費：無 料（要事前申込） 定員：200 名

詳 細：<http://www.independents.jp/event/item000200>

問合先：インデペンデンツクラブ事務局（担当：高田）

Tel 03-3980-2945 Email club@independents.jp

[\[email protected\]](#) ◆……………

□■□∞∞——「ASEF ヤング・リーダーズ・サミット」参加者募集のお知らせ——∞∞□■
□

（日時：2015 年 11 月 1 - 5 日，於：ルクセンブルク）

概要：

第 12 回 ASEM 外相会合に併せ、ASEF（アジア欧州財団）（以下【参考】参照）は、2015 年 11 月 1 - 5 日の日程で日本の拠出金事業でもある「ASEF ヤング・リーダーズ・サミット」（起業家精神と若年雇用）をルクセンブルクで開催します。

ホスト機関はルクセンブルク大学，欧州投資銀行，パートナー機関は EU 及びシンガポール・マネ

ジメントスクールまたルクセンブルク及び日本が支援しております。

A S E Fはこのたび本イベントに参加する18-30歳の若手職業人及び学生を公募します（応募締切は、2015年9月20日）。

詳細は下記をご参照ください。

1, Open Call : http://www.asef.org/images/docs/2015_08_19_ASEFYLS_Open_Call.pdf

2, Overview : http://www.asef.org/images/docs/2015_08_19_ASEFYLS_Overview.pdf

3, Programme : http://www.asef.org/images/docs/2015_08_18_ASEFYLS_Programmepdf.pdf

【参考】

1 A S E F（アジア欧州財団）は、A S E M（アジア欧州会議：Asia-Europe Meeting）参加51ヶ国の拠出のもと運営されている

シンガポールに本拠を置く常設事務局であり、日本もこれまで毎年分担金・拠出金を拠出している。

アジア欧州間における相互理解の増進のため、主に、知的、文化、人物交流及び広報の各分野における活動を実施（以下、事業例）。

（1）知的交流：非公式人権セミナー（e.g. 情報通信技術と人権）、A S E F保健ネットワーク（e.g. パンデミック発生時に備えるキャパシティ・ビルディング）等

（2）文化交流：A S E M Culture 360（芸術文化情報ポータルサイト兼コミュニケーション・プラットフォーム）、文化政策・芸術交流関連の各種セミナーやワークショップ等

（3）人物交流：A S E F大学（サマースクール）、A S E Fヤング・リーダーズ・サミット等

（4）広報 : A S E Mの広報（A S E M Infoboard(HP)の運営）等

（参考：A S E F（アジア欧州財団）HP：<http://www.asef.org/>）

2 現時点で出席を予定している主なスピーカー

（1）モゲリーニEU外務・安全保障政策上級代表、

（2）アセルボーン・ルクセンブルク外相(tbc)、

（3）ホイヤー・欧州投資銀行総裁、

（4）ベスターバッカ・ロビオ・エンターテインメント創業者、ほか、

（5）国際機関職員、NGO職員、及び、学術専門家・関係者、並びに、各国の労働・雇用・教育省関係者等

.....